

令和5年1月13日



西金沢学園だより

～地域と保護者の皆様へ～

NO.10(69号)

横浜市立義務教育学校

西金沢学園

〒236-0046 金沢区釜利谷西四丁目 19 番 1 号

【本校舎】電話 045-784-0921

【分校舎】電話 045-782-7577

(小) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishikanazawa/>

(中) <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikanazawa/>

年度のまとめ、3学期がはじまりました

校長 梅澤 薫

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。今年もどうぞよろしく願いいたします。

児童・生徒の皆さんは、例年に比べ少し長めの冬休みをどのように過ごしたでしょうか。コロナ禍はまだ続いています、久しぶりに行動制限の無い年末年始ということで、この2年間とは違った年末らしさ、お正月らしさを楽しんだのではないのでしょうか。そのような時間の中で新しく気づいたり、再発見したりしたことも多かったと思います。新しい年の始まりに経験したり感じたりしたことが、この一年の皆さんの新しい糧となり、成長の礎となることを願っています。

1月10日には、風が強く寒い中ではありましたが、青空のもとグラウンドで3学期始業式を行いました。当初は驚きもあった全校児童・生徒が集まる光景も、気がつけば今年度はこれが最後になります。そのような思いで見る児童・生徒の姿に心新たにするとともに、少し寂しい気持ちにもなりました。一方、2学期終業式では何かそわそわ、ざわざわしていた小学生もとてもしっかりとした態度で式に臨め、中学生は増々頼もしくなった姿であったように思います。歩みに差こそあれ子どもたちは日々成長しているのだなと改めて感じたところです。

以前より、コロナ禍ということで式についてはおおむね簡素化しているところですが、始業式では校歌を斉唱しています。始業式は屋外ということもあり子どもたちの歌声は流されがちでしたが、真剣に歌っている様子は心温まるものでした。

ところで、中学生には先の終業式における校歌斉唱に際し、「ちょっと本気出してみて」と声をかけました。暑さ等の理由から1学期の終業式では中学生の歌声を聴けていなかったのをお願いしたわけですが、想像をはるかに超えた歌声を披露してくれました。「ちょっと本気で」などと言ったことが恥ずかしくなるくらいでした。生徒達は元々しっかり歌うつもりでいたのでしょうか、私にしてみれば心が通ったことが実感できるような素晴らしい場面となりました。人の思いを受け止めて、少しでも応えようとしてくれた中学生の気持ちの塊が素晴らしい歌声となり、私の心を揺さぶってくれたものと思っています。本当に感謝です。今後も、学校のいたるところで、数多くのそのような素晴らしい場面に出会えることを期待しています。もちろん私も誰かの心を揺さぶることができればと思っています。児童・生徒の皆さんも、お互いにそのような体験が沢山できるといいですね。

緊張感が高く、慎重な雰囲気スタートすることが多い1学期や、長い2学期を控え何かゆったりと始まる感じのする夏休み明けと比べ、3学期は初日からきびきびとした、ちょっと忙しさを感じながら始まるようにいつも感じています。今年も早くも校内には書初めがあふれ、進路や卒業といった言葉もよく耳にするなど、やはり初日から3学期らしさを実感しています。学校は今年度の教育活動のまとめと来年度の準備が短い期間に重なり大変忙しいものとなりますが、一年間の子どもたちの育ちの姿を確認できる、楽しくうれしい時期でもあります。一人ひとりが、それぞれの学年が一年間の締めくくりとして形に残るもの、思い出に残るものを意識して、様々なことに向け取り組んでいくことでしょう。少し先の子どもの姿を楽しみに、欲張りすぎずに指導・支援にあたっていきたいものです。特に6年生と9年生は大きな節目を迎えるにあたり、今まで以上に一日一日を大切にしていって姿を見せてくれればと楽しみにしています。

本年も子どもたち一人ひとりが学びを重ね、確かな歩みを刻めるよう教職員一同で力を合わせてまいります。

保護者、地域の皆様には、今までと変わらぬ本校へのご理解、ご協力をお願いいたします。